

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

別紙1

No.	事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象等 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
1	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費	① 感染拡大防止のためにマスクの確保を行い配布する。 ② マスクの購入費用 ③ マスクの配布に要する経費 ④ 町民1世帯あたり1箱（50枚）、その他妊婦や社会福祉施設世帯員が6人以上の場合2箱	13,750,000	13,750,000		消耗品費：13,750,000円 町民配布用マスク250,000枚（50枚5,000箱）購入	10万円の定額給付の案内にマスク引換券を同封し、全世帯4,201件に郵送。5月21日から24日まで10か所の配布会場を設け、1世帯につき1箱、6人以上世帯は2箱を配布した。未配布者には訪問した。配布率は94.8%。その他、妊婦や町内医療機関、介護事業所等にも追加で配布した。当時マスクが手に入りにくい状況であったので大変喜ばれた。	保健福祉課
2	新型コロナウイルス感染症対策協力給付金給付事業	① 新型コロナ感染症の影響により、経済が停滞する中で、町内の中小企業者に対し、事業所の感染症防止対策や事業活動再開に向けた準備など200,000円を給付する。 ② 協力給付金 ③ 法人事業者 ④ 町内に事務所を置く中小企業事業者	16,800,000	16,800,000		法人事業者に対する給付金額：16,800,000円 (法人事業者1者当たり200,000円×84者)	法人事業者160事業者(平成26年経済センサス調べ)に対し、給付件数は84者(52.5%)であった。 国の様々な支援(持続化給付金、雇用調整助成金、月次支援金や、利率実質0%となる制度融資など)及び当町協力給付金により事業を継続して実施する力の下支えになったと考えられる。 当該給付金の使途は新型コロナウイルス感染症防止対策に係る経費やその他事業再開に係る経費等に活用していただいた。	産業課
3	きみの2020商品券交付事業	① 移動制限の中、地域の商店等の経済を支援するため、町民1人あたり5,000円（500円×10枚）の地域限定商品券を発行する。 ② 商品券、商品券交付に要する委託料 ③ 商品券 8,640人 その他事務委託料 ④ 全町民	47,288,032	47,288,032		事務委託料：5,349,532円 換金資金：41,938,500円	町民が広く使用できるよう町内事業所を公募し、町民1人につき5,000円分の「きみの2020商品券」を発行することで、新型コロナウイルス感染症の影響による町民の不安を和らげるとともに地域経済の下支えにつながった。	総務課
5	新型コロナウイルス感染症観光対策事業	① 落ち込んだ観光消費を回復するため、紀美野町への旅行を促す事業を行う。 ② 電子チケット販売（1,000円で2,000円分利用できるチケットを3,700口分販売）、プロモーションの実施に係る経費に対する町観光協会への補助。 ③ 電子チケット補助 観光プロモーション委託 ④ 紀美野町観光協会	7,000,000	7,000,000		電子チケット補助 5,000,000円 観光プロモーション補助 2,000,000円	・電子チケット事業 町内27店舗が参加し、約3,700セット(7,400,000円相当)のチケットが発売から1か月で売り切れることとなった。利用者の約80%が町外在住であり、町外からの誘客・観光消費の回復につながった。  ・観光プロモーション事業 他に類を見ない絵本風のパンフレット・動画を作成し、大阪南部など、紀美野町へのアクセスのよい地域を中心に配布を行った。新聞などで取り上げていただくなど、話題となり、町の魅力PRや知名度向上につながったと考えられる。	産業課
6	避難所資材整備事業	① 不特定多数の人の出入りが予想される災害時の避難所における感染拡大防止策を図る。 ② 衛生用品の購入経費 ③ 体温計 ハンドソープ 手袋 その他消耗品（コピー用紙、輪転機インク等） ④ 指定避難所	269,500	269,500		消耗品費 269,500円 ハンドソープ 49,000円 手袋 22,500円 電子体温計 126,500円 救急用品入れボックス 54,450円 消毒液等 17,050円	避難所における感染症対策の為に物品を購入し、災害時の避難所での感染拡大防止に備えた。 各避難所には、体温測定や消毒薬利用についての掲示をし感染症対策に努めた。	保健福祉課
7	健康づくり推進事業	① 外出自粛の中、フレイルに陥りそうな方を早期に発見し、予防を図る。 ② 教室で使用する体成分分析装置の購入と啓発用品の購入 ③ 健康教育教材等消耗品 体成分分析装置 ④ 健康教室、地域サロン参加者	1,169,739	1,169,739		消耗品費 100,264円 パンフレット代 68,584円 コピー用紙、輪転機インク代等 31,680円  備品購入費 1,069,475円 体成分分析装置 1台	体成分分析装置（インボディ）測定者数 令和2年度 195人(10～3月) 健康教室での利用だけでなく、トレーニングルームに設置することで、気軽に測定してもらうことができた。また地域サロンへ持参することで、移動手段を持たない高齢者にも利用してもらうことができた。結果を参考にしながらフレイル予防について保健指導を実施し、外出自粛による筋力低下の予防に役立った。	保健福祉課

No.	事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象等 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
8	福祉センター網戸設置工事	① 衛生事業の中心となり、不特定多数の出入りが見込まれる施設での3密回避のための換気実施のための網戸の設置 ② 工事費 ③ 設置工事費 ④ 総合福祉センター	1,254,000	1,254,000		工事費：1,240,000円	各種教室や研修会等で不特定多数の出入りがある総合福祉センターの各部屋に網戸を設置した。定期的な換気を行うことで、感染予防、拡大防止に寄与した。	保健福祉課
9	感染症対策教育推進事業	① 感染症拡大防止のため、きちんとした手洗いがいかに広めるための健康教育を実施する。 ② 健康教育に使用する消耗品の購入経費 ③ 手洗いチェッカー 手洗いチェッカー用ローション 健康教育教材（パンフレット） その他消耗品費（コピー用紙等） ④ 健康教室参加者	193,485	193,485		消耗品 193,485円 手洗いチェッカー 47,200円(2台) チェッカー専用ローション 21,912円 感染症対策用パンフレット 99,000円 その他消耗品 25,373円	サロンでの健康教育時に、手洗いチェッカーを実施した。令和2年度 14人(10～3月) 手洗いの前後で洗い残しが目で見てわかるため、より効果的な手洗い方法の実践につながると考えられる。 感染症予防についてのパンフレットを町内44か所の地域サロンで配布した。 手洗いや咳エチケット、換気、マスクの着用方法など正しい感染予防行動について保健指導を実施し、感染予防に寄与した。	保健福祉課
10	救急隊員感染症防止資器材購入事業	① 救急隊員の安全確保と住民の安心のある救急活動を行うため救急隊員の感染防止資器材を整備する。 ② 感染防止資器材の購入費 ③ 感染防止衣 感染防止衣 保護メガネ ニトリル手袋 ディスポーザブルマスク N95マスク ④ 消防署	482,050	482,050		感染防止衣100着 165,000円(100着) 保護メガネ 105,300円(50個) ニトリル手袋 42,900円(30箱) ディスポーザブルマスク 25,850円(50箱) N95マスク 143,000円(10箱)	救急隊員の感染防止対策として、感染防止衣、保護メガネ、ニトリル手袋及び高性能なマスクなど感染防止資器材が増強できたことにより隊員の安全確保と感染防止が図られ、住民の方々が安心できる救急活動に努められた。	消防本部
11	ドーム用動画作成委託料	① 屋間みさと天文台へ来た観光客に対し、紀美野町の観光スポットのPRを行い、点である観光スポットを線でつなぐことにより町内事業者への波及効果を高める。 ② 観光PR動画作成に要する委託料 ③ 業務委託料 ④ みさと天文台	3,919,300	3,919,300		委託料 みさと天文台3,919,300円	プラネタリウム棟は、感染症の影響で長時間、滞留できない施設であるため、短時間で町内観光スポットを紹介できる動画は、町内事業者への波及効果が非常に高く、また、来台者に対し、実働段階ではないプラネタリウムの体験満足度を上げることができた。	教育課
13	小学校網戸設置	① 野上小学校及び下神野小学校において、換気を行うための網戸の設置を行う。 ② 工事費 ③ 野上小学校 下神野小学校 ④ 野上小学校、下神野小学校	938,300	938,300		野上小 666,600円 下神野小 271,700円	網戸を設置することで虫等の進入を防ぎ、教室等の換気を行い、児童等の感染対策を行いながら授業ができた。	教育課
15	安全で安心にスポーツができる体育館・武道	① 感染拡大防止として不特定多数の人の出入りが予想される施設での消毒や換気を行うための消耗品や網戸の設置を行う。 ② 網戸設置工事費、消毒に必要な消耗品 ③ サーキュレーター メイオール消毒液 その他消耗品費（アルコール自動噴霧器他） ④ 農村総合センター網戸設置工事費 農村総合センター、スポーツ公園	602,759	375,655	227,104	消耗品費 サーキュレーター 166,474円(13台) メイオール消毒液 239,085円(23箱) オートディスペンサー 15,920円(4台) 工事請負費 農村総合センター網戸設置工事 181,280円	換気を目的に、サーキュレーターを併用しつつ網戸設置を行ったことで感染対策が行えた。その他の対策として、消毒液や、手指に消毒液を自動噴霧するオートディスペンサーを購入したことで、不特定多数が触れる機会が無くなり、各施設における感染症対策を行うことができた。	教育課

No.	事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象等 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業額 （円）	交付金充当額 （円）	その他 （円）	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
16	地区集会所感染症防止事業	① 住民が多く集まる機会の多い地区集会所において3密を避けるために必要な換気器具を設置する。 ② 換気器具の購入費用 ③ サーキュレーター（大） サーキュレーター（小） ④ 集会所	642,600	642,600		備品購入費 397,400円 サーキュレーター小 8台 サーキュレーター大 62台 計70台	地区の会議等の際にサーキュレーターを使用することで、適切な換気を行うことができた。	総務課
17	会計システム電子決裁化事業	① 役場庁舎内の公会計システムを電子決裁化することで、職員間の接触機会を減らすとともに、分庁や分室など職務環境にも耐える体制を構築する。 ② 委託金、備品購入費 ③ 電算システム設定委託料 設定用パソコン ④ 地方公共団体	899,800	239,800	660,000	電算システム設定委託料 660,000円 設定用パソコン 239,800円	令和3年4月1日から電子決裁による公会計システムの運用を開始した。決裁時の庁舎間での往来が不要となり、職員の接触機会を減らすことができ、また分庁や分室などの職務環境で業務を継続することが可能となった。	総務課
18	デスクパーテーション設置事業	① 役場庁舎内でのクラスター化を防ぐためのデスクパーテーションの設置を行うもの。 ② パーテーションの購入費用 ③ パーテーション ④ 地方公共団体	2,940,300	2,940,300		デスク前面用 2,057,000円(173セット) 側面用 883,300円(100セット)	デスクが接触している前面、側面にパーテーションを設置したことにより、飛沫飛散を抑制することができた。	総務課
19	美里の湯かじか荘新型コロナウイルス感染症対策支援事業	① 公の施設の指定管理者に対する感染症対応の支援を行う。 ② 休業期間の従業員向けのコロナ対策やサービス向上の研修に要する費用や休業期間中も必要となる経費に対する支援金 ③ 特別支援金 ④ 指定管理者	10,077,000	10,077,000		特別支援金 10,077,000円	雇用調整助成金や当町協力給付金により、事業を継続して実施する支えになっていると考えられる。当該給付金の用途は新型コロナウイルス感染症防止対策に係る経費や事業再開に係る経費等に活用した。	企画管財課
20	新型コロナウイルス感染症等対策関係資機材保管場所整備事業	① 感染拡大防止のための衛生品や避難所運営の消耗品を備蓄するために現在使用していない既存施設の改修を行う。 ② 改修のための設計監理、工事費 ③ 設計監理業務委託 工事費 ④ 地方公共団体	5,639,700	5,639,700		設計監理費 767,800円 改修工事費 4,871,900円	感染拡大防止のための衛生品や避難所運営の消耗品を備蓄するために、天井および壁面、床等を改修し、資材を適切に保管できる環境を整えた。各種資機材の保管場所が確保できた。	企画管財課
21	紀美野町本庁舎新型コロナウイルス感染症対策改修事業	① 不特定多数が来庁する役場庁舎の改修を行い、3密の回避を図り感染拡大防止策を図る。 ② 消耗品費、改修のための設計監理、工事費、備品購入費 ③ 窓口椅子（計20脚） 設計監理業務委託 工事費 ロビーチェア ④ 地方公共団体	9,163,220	9,163,220		設計監理費 902,000円 改修工事費 6,655,000円 消耗品費 451,220円 窓口用椅子 306,900円 備品購入費 ロビーチェア	本庁舎1階部分の会議室や来客の多い住民課・税務課窓口を改修し、感染拡大防止対策を図った。来客用の椅子及びロビーチェアをアルコール消毒対応のものに買い替えたことで、毎日の業務終了後くまなく消毒できるようになり、新型コロナウイルス感染拡大防止につながっている。	企画管財課 住民課

No.	事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象等 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
22	小中学校ICT教育推進事業	① ICT教室のため、小中学校の各教室にカラーレーザープリンタ、ipad保管庫、ノートパソコンの設置を行うもの。 ② 備品購入費 ③ A3カラーレーザープリンタ ノートパソコン ipad保管庫 ④ 町内小中学校	6,021,378	6,021,378		備品購入費 カラーレーザープリンター 4,391,838円 22台 5校分 ノートパソコン 495,000円 5台 5校分 iPad保管庫 1,134,540円 18台 小学校3校分	タブレット端末と親和性のあるプリンターを設置したことで、校内のICT活用機会が増え、オンライン授業やデジタル教材の配付等、感染症の拡大時に必要なツールに対するノウハウが培えた。ノートパソコンについては、校内事務の電子化に大変役立った。iPad保管庫については、児童生徒がタブレット端末を正しく整理し取扱うことで、消毒作業の負担軽減に繋がり衛生的な環境が構築できた。	教育課
23	窓口手続きの簡素化事業	① 来庁者の対応時間がかかる窓口業務について、マイナンバーカードとタブレット端末を用いて、証明書発行や申請手続きの時間を短縮することで庁舎での密の回避を図る。 ② 電算システム使用料、保守及びシステム導入に対するベンダーへの支援委託 ③ システム使用料 システム保守委託料 システム導入支援委託料 ハードウェア機器一式 ④ 地方公共団体	5,704,622	5,704,622		委託料 2,265,164円 使用料及び賃借料 462,000円 備品購入費 3,241,040円	マイナンバーカードをお持ちの方であれば、職員との接触は証明書の交付の際のみとなり、申請書を記入するよりも手続き時間や接触回数が減っていることから、感染拡大防止に貢献している。	住民課
24	農地現場確認用タブレット端末整備事業	① 農業委員の現地確認にタブレット端末等を導入し、会議での接触機会の削減や事務効率化を図る。 ② 備品購入費、ソフトウェア購入費 ③ タブレット端末 ソフトウェア購入費 GPS内蔵デジタルカメラ購入費 ④ 農業委員会	1,300,640	1,300,640		タブレット型パソコン導入費 1,044,560円 水土里情報システム購入費 220,000円 コンパクトデジタルカメラ導入費 36,080円	タブレット型パソコン導入により、従来集まって検証していた接触機会を削減しつつ、令和2年度の農地パトロールを実施することができ十分な感染症対策を図ることができたと考える。	産業課
25	感染症対応プレミアム商品券発行事業補助金	① 感染症により落ち込んだ地域経済の活性化のためにプレミアム率50%の商品券の発行を行う。10,000円で15,000円分使用できる商品券を1,800口分発行。 ② 発行商品券のプレミアム分の補助 ③ 発行金額 180,000,000×50% ④ 町内に事務所を置く中小企業事業者	8,966,000	8,966,000		プレミアム分：8,966,000円	だ地域経済の活性化のためにプレミアム率50%の商品券の発行を行った。商品券使用率は99.6%で、町内に26,898,000円の経済効果があり町内の活性化に寄与したと考えられる。	産業課
26	新生児特別臨時給付金給付事業	① 特別定額給付金と町独自で行った生活支援給付金（1人につき10,000円）の対象とならない4月28日以降に生まれた新生児に対し給付する。 ② 給付金、郵送料、消耗品、超過勤務手当 ③ 給付金 通信費 コピー用紙、トナー等消耗品 超過勤務手当 ④ 4月28日以降に生まれた新生児の保護者	2,449,418	2,339,418	110,000	給付金 2,310,000円 通信費 1,000円 コピー用紙、トナー 9,988円 超過勤務手当 19,430円	令和2年4月28日から令和3年3月31日までに生まれた新生児21名の保護者に対し、給付金110,000円を給付することで、新型コロナウイルス感染症拡大によって不安な状況下で新生児を育む世帯の経済的負担を軽減することに寄与した。	保健福祉課

No.	事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象等 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
28	水道料金減免対策事業	① 水道料金の基本料金を減免し、新型コロナウイルスの影響を受けている町民の負担軽減を図る。 ② 水道料金の6ヶ月分基本料の減免分、徴収システムの改修委託に対する補助 ③ 水道料金基本料の減免システム改修委託料 ④ 簡易水道事業会計・簡易水道特別会計	38,178,250	38,178,250		水道料金の6ヶ月分（令和2年9月使用分～令和3年2月使用分）の基本料金の減免（官公署・休止料金を除く） 西部簡易水道事業会計 一般家庭 2,085件 17,886,440円 町内事業者 103件 879,450円 東部簡易水道事業特別会計 一般家庭 2,012件 17,261,530円 町内事業者 95件 816,530円 営農用 157件 1,037,300円  料金徴収に係るシステム改修委託料 297,000円	町民及び町内事業者等に対し水道の基本料金を減免したことにより負担の軽減を図ることができた。	水道課
29	高規格救急自動車整備事業	① 現有資機材と予備車両を最大限活用し、感染防止に努めているが、資機材が不足し出勤体制を整えるのに大変苦慮していることから、感染リスクを軽減する為、殺菌ロッカーを購入すると共に、感染防止設備を整えた救急車両を購入し、救急の受け入れ体制を強化する。 ② 車両、救急資器材の購入費 ③ 車両及び装備一式・殺菌ロッカー ④ 消防署	38,450,910	23,223,000	15,227,910	高規格救急自動車一式（装備一式、救急資器材、殺菌ロッカー） 38,450,910円	令和3年11月中に納入予定。車両及び不足している資機材が整備できることにより、感染リスクが軽減すると共に、救急の受け入れる体制が強化できると考えられる。	消防本部
31	小中学校ネットワーク環境整備事業	① 町内の小中学校において既存LANケーブルを10Gbpsの通信に対応するための改修と未整備である特別教室や体育館等への整備を行うもの。 ② 国庫補助事業の継ぎ足し単独分の事業費 ③ 事業費 ④ 町内小中学校	14,986,600	14,986,600		委託料 14,986,600円 5校分	校内LANを大容量通信に対応し、無線接続可能エリアを拡充したことでICT活用の機会が増えた。学校間交流や教員間交流を容易にオンラインで行える環境となった。	教育課
32	公共施設トイレ手洗い自動水栓化事業	① 不特定多数の方々が利用する公共施設の手洗いを自動水栓化することで感染リスクの軽減を図る。 ② 工事費及び特別会計に対する繰出金 ③ 工事費 ふれあい公園特別会計繰出金 ④ 志賀野出張所、中央公民館、文化センター等 町内施設	4,717,106	4,717,106		総事業費：4,717,106円 美里支所、志賀野出張所、長谷原健康センター、きみのこども園、児童館、中央・小川地区・志賀野地区公民館、自然体験世代交流センター、武道館、スポーツ公園、志賀野体育館、農村センター、ふれあい公園	町内各施設のトイレの手洗いを非接触の自動水洗化することで、感染症予防、拡大防止に寄与した。	総務課 住民室 保健福祉課 教育課 産業課
33	小中学校トイレ洋式化事業	① 学校内での感染リスクが高いとされるトイレを乾式洋式トイレに改修を行い感染拡大防止を図る。 ② 監理業務委託料、工事費 ③ 監理業務委託料（5校） 工事費（5校） ④ 町内小中学校	121,596,705	121,596,705		・設計業務（5校）5,005,000円 ・工事請負費 野上小 44,799,700円 小川小 8,807,700円 下神野小 19,649,300円 野上中 29,181,900円 美里中 15,881,800円 ・監理業務 野上小 930,096円 小川小 432,758円 下神野小 573,238円 野上中 766,975円 美里中 573,238円	町内5校の小中学校を対象に、コロナ感染対策として和式から洋式への変更、また床材を湿式から乾式にし、手洗い場もブッシュ式に変更した。 衛生面の向上と感染対策の向上が図れた。	教育課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

別紙1

No.	事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象等 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業額 （円）	交付金充当額 （円）	その他 （円）	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
34	庁舎無線LAN構築事業	① 3密回避と業務継続のための分室での業務を図るための庁舎での無線LANの整備を行う。 ② 構築委託料 ③ 構築委託費 ④ 役場庁舎、美里支所、総合福祉センター他	12,909,600	12,909,600		委託料 12,909,600円	本庁、中央公民館、美里支所、総合福祉センター、消防本部の5カ所が無線LAN対応になり、職員が使う事務用ノートパソコンが160台無線LAN対応になった。事務所の分室化、会議室のWeb会議で活用している。	総務課
35	学校臨時休業対策費補助金	① 臨時休校に伴う学校給食の牛乳供給停止に係る違約金 ② 違約金 ③ 違約金 補助金負担割合 国：3、町：1 ④ 町内小中学校生徒	132,088	33,000	99,000 (国庫補助) 88 (対象外経費)	補償補填及び賠償金 臨時休校に伴う学校給食の牛乳供給停止に係る違約金 132,088円	臨時休校に伴う学校給食の牛乳供給停止に係る違約金を補助することにより、保護者の負担軽減を図ることができた。	教育課
36	学校保健特別対策事業費補助金	(感染症対策のためのマスク等購入支援事業) ① 学校再開にあたり、感染症対策として、マスクの購入及び児童生徒に対し配布を行う。 ② 感染予防のための消耗品費 ③ マスク 補助金負担割合 国：1、町：1 ④ 町内小中学校児童生徒	133,000	67,000	66,000 (国庫補助)	消耗品費 マスク(50枚 55箱) 151,250円	学校内での児童生徒及び来校者に対する感染拡大防止を図ることができた。	教育課
37	学校保健特別対策事業費補助金	(学校再開に伴う感染症対策・学習保障等に係る支援事業) ① 学校教育再開に伴い、消毒等の感染症予防や分散教室の実施に係る消耗品や備品の購入を行い環境の整備を行う。 ② 感染予防のための消耗品、備品購入費 ③ メイオール消毒液 非接触赤外線温度計 使い捨てごみ手袋 マスク(70箱) サーキュレーター 自動手洗消毒器 給食用食缶 ミスト発生器 スポットクーラー オイルヒーター 石油ストーブ 学校携帯電話  ワイヤレスマイクセット パーテーション その他消耗品 補助金負担割合 国：1、町：1 ④ 町内小中学校	5,000,000	2,500,000	2,500,000 (国庫補助)	消耗品費 メイオール消毒液 190,575円 非接触赤外線温度計 138,380円 (17個) 使い捨てごみ手袋 92,130円 マスク 81,268円 (70箱) サーキュレーター 201,360円 (12台) 自動手洗消毒器 246,760円 (62個) 給食用食缶 259,116円 (10缶) 学校携帯電話 213,400円 (5台) 机・イス 416,680円 (6脚・40脚) ワイヤレスマイクセット 115,950円 (5セット) パーテーション 785,952円 その他消耗品 629,063円 備品購入費 スポットクーラー 314,000円 (2台) ミスト発生器 336,000円 (4台) 石油ストーブ 716,628円 (12台) オイルヒーター 109,990円 (1台)	不足してきた感染防止物品を補うことにより、学校内での児童生徒及び来校者に対する感染拡大防止を図ることができた。	教育課
39	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策費	① 役場庁舎や総合福祉センターの来庁者に対し、マスクを配布し感染拡大防止を図る ② マスク購入費 ③ マスク購入費 ④ 地方公共団体	1,100,000	1,100,000		消耗品費：1,100,000円 マスク(50枚400箱)購入	来庁者や町内施設利用で、マスクを持参されていない方に感染症予防の為、マスク配布を行った。	保健福祉課

令和2年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 効果検証

別紙 1

No.	事業名	事業概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象等 ④事業の対象（交付対象者、対象施設等）	総事業額 (円)	交付金充当額 (円)	その他 (円)	事業経費内訳	成果及び評価	担当課
40	野上小学校空調設備整備事業	① 感染拡大防止のため分散教室の実施にあたり、特別教室への空調設備の設置を行う。 ② 工事費 ③ 4教室 ④ 野上小学校	8,250,000	8,250,000		工事請負費 8,250,000円	新型コロナ感染対策の一つで、分散授業を行うために空調設備の設置を行った。  換気対策と環境整備の両立ができ、感染対策の質を高めることができた。	教育課
合計			392,926,102	374,036,000	18,890,102			